

# 大学生、講師成果を報告

## 浜松市との連携事業



## 準備や反省、工夫も

大学生が授業などで学んだ専門知識を生かし、市民講座で講師を務める「浜松市と大学との連携事業」の2019年度成果報告会が27日、中区の地域情報センターで行われた。

浜松学院大、静岡文化芸術大、常葉大、静岡大、聖隷クリストファー大の学生が、音楽や健康づくり、語学など多彩な分野の講座に取り組んだ事例を発表した。事前の準備や当日の講座内容、参加者の反応などを取り上げたほか、「参加者の自己紹介の時間を設ける」「内容をさらに充実させる」といった反省点を生かした工夫も紹介した。

大学生が講座の成果を発表した報告会。浜松市中区の地域情報センター